

試験研究事業の取組み

畜産試験場

対象家畜	事業名	期事業 間業	事業費	財源	内容
乳用牛	黄体ホルモンを活用した牛受胎率向上技術	23～25	1,221	国10/10*	黄体ホルモン製剤を活用し、黄体ホルモン値、血液性状値と受胎率の関係を解明することにより、受胎率を向上する。
	受精卵移植を活用した病気に強い乳用牛の効率的な生産技術の確立	22～25	2,089	国10/10*	安全・安心でおいしい生乳を生産するため、健康長寿な乳牛を選定し、その牛から誕生した雌牛が病気に強いかどうかを検証する。併せて雌が生まれ易い受精卵を多数生産する方法や受胎率を向上する方法を検討し、優良牛を増殖する技術を確立する。
	泌乳ステージに応じた乳牛への飼料用籾米多給技術の確立	24～26	2,474	県単	乳牛の泌乳ステージ毎に最適な籾米の多給技術を確立し、生産コストを低減する。
肉用牛	飼料米(籾米)活用による若狭牛づくり	23～25	410	県単	管理保管が容易な籾米を濃厚飼料の最大6割代替え給与する若狭牛肥育技術を確立し、生産コストを低減する。
	⑨ 三ツ星若狭牛の開発	25～27	9,214	国10/10*	食肉の美味しさの新たな指標とされる「オレイン酸」を向上する技術の開発および美味しさに関与する遺伝子の活用による優良牛の選定技術を確立し、県内産飼料をできる限り使用した安全で安心な若狭牛の開発を行う。備品: 食肉脂質測定装置、遺伝子検出装置
豚	ふくいポーク種豚生産試験事業	4～	5,164	県単	ふくいポーク種豚の農家への供給と養豚生産技術向上を検討する。
	⑨ ふくいポークのストレス緩和による肉質向上技術の開発	25～26	2,404	国10/10*	人でストレス緩和効果のあるGABAや乳酸菌を活用したストレス軽減技術を開発し、ふくいポークの肉質を安定させ食味を向上する。備品: 簡易分光色差計
鶏	籾米配合飼料による鶏卵生産技術の確立(採卵鶏流通主要銘柄検定)	24～25	750	県単	飼料米を配合給与したときの産卵率低下の原因と考えられるたんぱく質を他の原料で補正し、産卵率の低下を防止する技術を確立する。
飼料	自給飼料生産試験事業	S37～	1,426	県単	県の環境に合った飼料作物栽培管理技術を確立する。
	飼料用籾生籾サイレーズの増収・品質向上・省力化技術の開発	24～26	4,851	国10/10*	大幅な省力化が期待できる生籾サイレーズの収量性や品質、保存性の高い製造技術を確立する。
環境	カニ殻を利用した良質畜ふん堆肥づくり	23～25	1,215	国10/10*	廃棄されている越前ガニの殻を牛糞に混合して発酵温度を上げることにより、良質な堆肥を生産する技術を確立する。
合 計			31,218		